

みんなが えがおで すごせる 学校にするために

～いじめ防止基本方針の おしらせ～

学校は、みんなが安心して勉強したり、友達と遊んだりする場所です。そのために大切な約束をまとめました。

1. 「いじめ」って なに？

いじめとは、同じ学校の人などから、心や体に苦しい・つらいと感じさせられることをいいます。たとえば、つぎのようなことをさします。

● 言葉のいじめ	： 冷やかしたり、からかったり、悪口やおどし文句など、いやなことを言う。
● 仲間はずれ	： 集団で仲間はずれにしたり、無視したりする。
● たたく、ける	： わざとぶつかったり遊んでいるふりをして たたいたりけったりする。
● お金や物のこと	： 「お金や物を出せ」と言ったり、無理やりとったりする。
● 持ち物について	： 持ち物をかくしたり、ぬすんだり、こわしたり、すてたりする。
● いやなことをさせる	： 本人が いやがること、はずかしいこと、あぶないことを させる。
● ネットやスマホ	： タブレットやパソコン、スマホなどで、ひどいことを書きこんだりいやなことをしたりする。

【わかってほしいこと】

「ふざけていただけ」「あそんでいただけ」と思っても、相手が「いやだ」「つらい」と感じたら、それはいじめです。

2. みんなで 守る 3つの「しない」

いじめをなくすために、みんなで この約束を 守りましょう。

- いじめを しない(人を きずつけない)
- いじめを させない(いじめを 見て見ぬふりしない)
- いじめを みのがさない(おかしいと思ったら すぐ教える)

3. もし、いじめが 起きたら？

すぐに お話を聴きます	いじめられた人だけでなく、まわりにいた人からも、しっかり話を聴いて、いじめが止むようにしていきます。
守ります	いじめられた人が、またいやな思いをしないように、全力で守ります。
考えます	いじめをしてしまった人にも、「なぜいけなかったのか」を 一緒に考えて、反省できるように支えます。

4. ひとりで 悩まないで！

こまったとき、悲しいときは、いつでも相談してください。

- おうちの人
- 担任の先生、保健室の先生、校長先生、話しやすい先生。(※どの先生に相談してもかまいません)
- スクールカウンセラーの先生

「助けて」と言うことは、はずかしいことではありません。
あなたの 勇気ある 一言が、学校を もっと 楽しくします。